

受益者の皆様へ

DIAMアセットマネジメント株式会社

**「DIAM世界好配当株式ファンド(毎月決算型)(愛称:ハッピーインカム)」の
第16期分配金について**

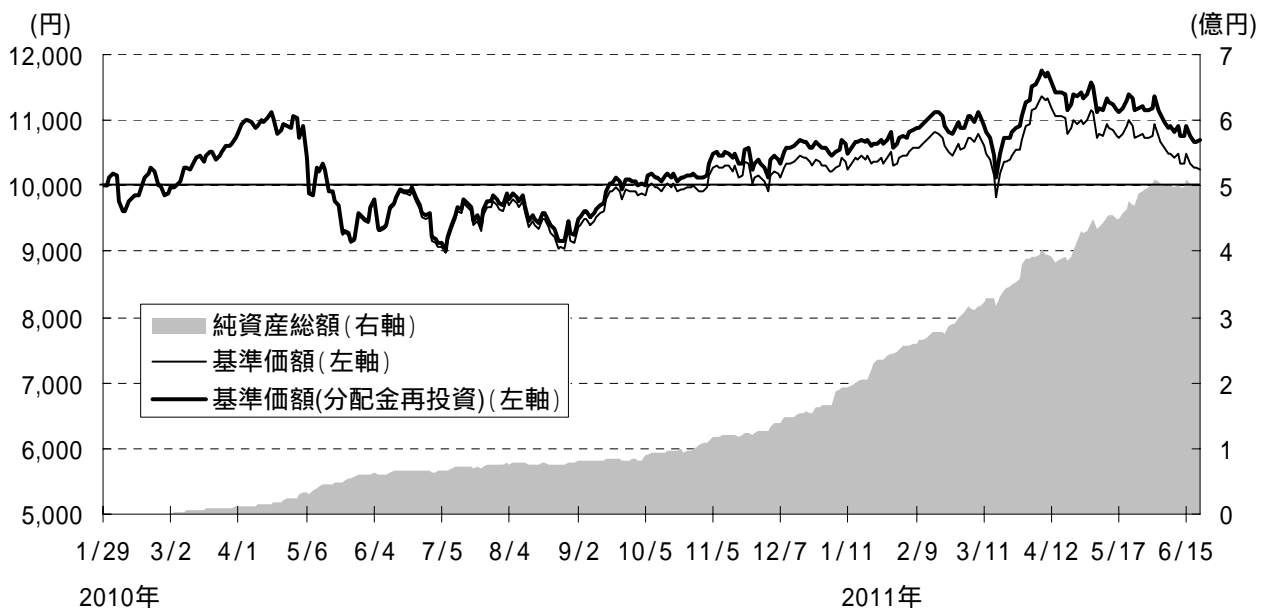
平素は、「DIAM世界好配当株式ファンド(毎月決算型)(愛称:ハッピーインカム)」(以下、当ファンド)をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、当ファンドは第16期(2011年6月21日決算)の分配金を50円(1万口当り、税引前)に決定しましたのでお知らせ申し上げます。

【分配実績】

決算期	決算日	分配金(税引前)
第3期～第15期	2010年5月21日～2011年5月23日	30円
第16期	2011年6月21日	50円
累積分配金		440円

【基準価額と純資産総額の推移】(設定日前日～2011年6月21日)



上記運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

基準価額(分配金再投資)は税引前の分配金を再投資したものと計算しております。

分配金再投資後基準価額 = 前日分配金再投資後基準価額 × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)

(決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)

基準価額は信託報酬控除後です。

当資料は5枚ものです。P5の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

運用経過と分配金の引き上げ理由

当ファンドは2010年2月1日に設定され、2011年5月末の基準価額は10,763円となり、設定来の騰落率(分配金再投資ベース)は+11.85%となりました。

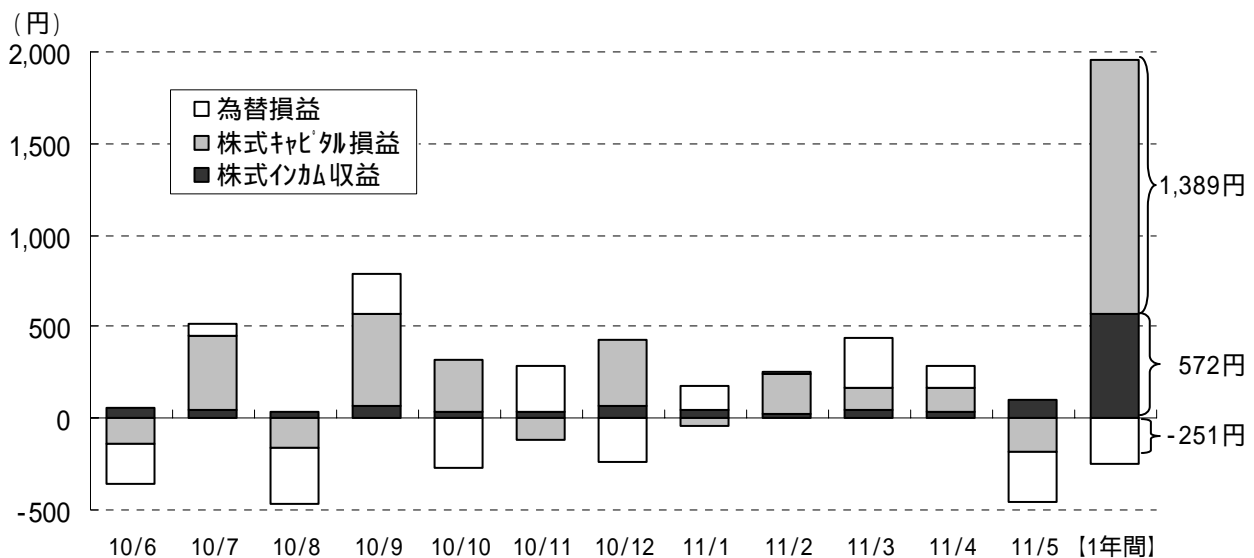
昨年5月にはギリシャを初めとした欧州各国の債務問題によってリスク回避の動きが広まり、世界的に株式市場が下落し、当ファンドの基準価額も一時9,000円を割り込む動きとなりました。しかし、11月に開かれた米FOMC(連邦公開市場委員会)において、リーマンショック後の金融緩和に続く追加的金融緩和が発表されると世界的に株式市場は上昇しました。今年3月の東日本大震災の直後に急落する場面も見られましたが、その後は堅調に推移しています。

当ファンドは日本を除く先進各国の比較的配当利回りの高い株式に投資することで、株式の配当収入と株式の値上がり益、為替差益の獲得をめざして運用を行っています。

2011年5月末までの過去1年間に於いて、当ファンドの基準価額は1,243円上昇しています。これを投資している株式から得られた配当金(株式インカム収益)および売買損益(株式キャピタル損益)、為替損益に分解したときの変動要因は下記となりました。

当ファンドにおいて、上記のような投資環境や基準価額水準などを総合的に勘案した結果、この度、分配金を引き上げることといたしました。

【基準価額の変動要因分析】(期間:2010年6月～2011年5月)



信託報酬および分配金、その他要因等による基準価額変動要因は除いています。

【1年間】のデータは、過去12カ月間の月次変動要因の額を各々単純合計したものです。

上記運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

上記の要因分析は、「簡便法」により行っておりますので、実際の数値とは異なります。

当ファンドの分配金は分配方針にもとづき、委託会社が基準価額の水準、市場動向等を勘案して決定しております。ただし、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。また、今後の市場環境や運用状況によっては、分配金変動する場合もございます。

当資料は5枚ものです。P5の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

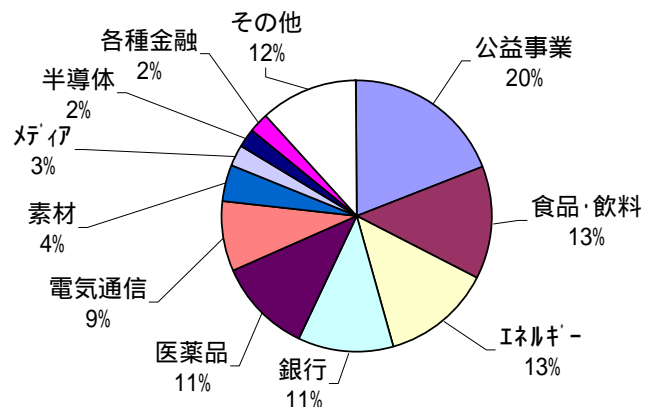
ポートフォリオの状況と今後の運用方針

2011年5月31日現在、当ファンドは日本を除く世界の株式101銘柄に投資しており、これらの銘柄の地域(国)および業種は下記の構成比率(純資産総額に対する割合)となっています。当ファンドは投資方針に基づいて運用されており、特定の地域(国)や業種に偏ることなく、分散されたポートフォリオとなっています。

【地域(国)別構成】(2011年5月31日現在)

地域(国)	構成比率(%)
北米・中南米	50.3
米国	39.1
その他	11.2
欧州	34.3
英国	14.7
フランス	7.0
その他	12.6
アジア・オセアニア	11.2
オーストラリア	6.7
その他	4.5
株式合計	95.7

【業種別構成】(2011年5月31日現在)



今後の運用方針としては、引き続き、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり益の確保を目指した運用を行います。具体的には、配当利回りが市場平均以上であり、利益及びキャッシュフローの成長性が高く、将来的にも十分な配当が期待できる銘柄を選別します。業種としては、キャッシュフローが潤沢で、配当性向も高い生活必需品、電気通信サービスセクターに着目します。(2011年5月末現在)

将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

以上

当資料は5枚ものです。P5の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

【主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)】

主なリスク

当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 株価変動リスク …………… 当ファンドは、実質株式組入比率を高位に維持することを原則とするため、株式市場の変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。
- 個別銘柄選択リスク …… 当ファンドは、実質的に個別銘柄の選択による投資を行いますので、株式市場全体の動向から乖離することがあり、株式市場が上昇する場合でも当ファンドの基準価額は下がる場合があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。
- 為替リスク …………… 当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。
- 信用リスク …………… 実質的に投資する株式や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。
- 流動性リスク …………… 当ファンドは、実質的に市場規模が小さい株式等に投資する場合があります。そのような市場では、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなる場合があります。基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。
- カントリーリスク …………… 実質的な投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等によっては、運用上の制約を受ける可能性があり、基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

お客様にご負担いただく費用について

以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時

購入時手数料	購入価額に3.15% (税抜3.0%) を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 くわしくは販売会社にお問い合わせください。
--------	---

換金時

換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。

保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)

運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の純資産総額に対して年率1.155%(税抜1.10%)を日々ご負担いただきます。
その他費用 ・手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

当資料は5枚ものです。P5の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

【本資料のお取扱いについてのご注意】

- ・ 当資料は、DIAMアセットマネジメント(株)が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。
 - ・ 当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
 - ・ 当ファンドは、株式等(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資をしますので、市場環境、組入
有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額につ
いては元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 - ・ 当資料における掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の市場動向を示唆および運用成果を
保証するものではありません。
 - ・ 当資料における見解はあくまでも作成時点(2011年6月21日)のものであり、今後予告なく変更される場
合があります。また、将来の市場動向を示唆および運用成果を保証するものではありません。
- ・ 投資信託は
1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対
象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりま
せん。
 2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本
保証及び利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負
担することとなります。

弊社ホームページにて当ファンドに関する情報をご提供させていただいております。
ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

DIAMホームページ <http://www.diam.co.jp/>

DIAMコールセンター 0120-506-860

(受付時間:午前9時～午後5時。除く土、日、祝祭日。)

【販売会社】



〔登録金融機関販売取扱会社〕

株式会社ゆうちょ銀行

関東財務局長(登金)第611号

〔加入協会〕 日本証券業協会



〔金融商品仲介業者〕

郵便局株式会社

関東財務局長(金仲)第325号

当資料は5枚ものです。P5の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会